

ドビュッシー没後100年 作曲のインスピレーションを辿る

1er Arabesque

アラベスク 第1番 1888～1891年頃作曲

流れるような美しいメロディーが螺旋模様のようなものである。

Préludes 1er Les collines d’ Anacapri
la sérénade interrompue

前奏曲集 第1巻より 1909～1910年作曲
アナカプリの丘

イタリアのカプリ島の丘から見える青い海、晴れ渡る空を表現している。

とだえたセレナード

ギター片手に気分よく歌ったり、調弦がずれて困惑している様子を表している。

Estampes Pagodes

版画より パコダ 1903年作曲

1889年のパリ万国博覧会で初めて耳にしたガムラン音楽の影響が、随所に感じられる。

—— 休 憩 ——

Préludes 1er des pas sur la neige

前奏曲集 第1巻より 雪の上の足跡 1909～1910年作曲

雪景色の中に見える足跡が、悲しみの重さを表している。

Chiodren’ s corner The snow is dancing

子供の領分より 雪は踊っている 1906～1908年作曲

静かに降り始めた雪が、時に激しく舞い上がり、まるで踊っているように表現されている。

Images 1er série Mouvement

映像第1集より 動き 1904～1905年作曲

ピアノを機械のように捉えた、抽象的で前衛的な作品である。

Images 2er série Cloches à travers les feuilles
Et la lune descend sur le temple qui fut
Poissons d’ or

映像第2集 1907年作曲

葉ずえを渡る鐘の音

傍から聞こえていた鐘の音が、風に乗って遠くまで運ばれる様子を表している。

そして月は廃寺に落ちる

静かに呼吸を整えるような雰囲気をもった曲である。

金色の魚

流線を描きながらゆったりと泳いでいる二匹の鯉が、深く潜伏したり、勢いよく水面より飛び上がる様子が表現されている。

CLAUDE・DEBUSSY PROFILE

1862年 フランス サンジェルマン＝アンレイに生まれる。
1872年 パリ音楽院ピアノ科に入学するが、作曲科に転向する。
1884年 作曲家の登竜門であるローマ大賞を受賞し、イタリアのヴィラ・メディチに滞在する。

1887年 帰国後、本格的に作曲活動に入る。

1890年 象徴派詩人マラルメのサロン「火曜会」にて、詩人や画家との交流を深める。

詩人との交流が盛んであった頃は、歌曲の作品を数多く作曲している。その後、管弦楽曲「牧神の午後への前奏曲」（マラルメの詩による）、オペラ「ペレアスとメリザンド」（メーテルリンクの物語による）、交響詩「海」を作曲する。これらの作品によって、作曲家としての地位を確立する。

1901年以降はピアノ曲を多く作曲し、名曲を残す。この頃より、音楽評論など文筆活動も始める。

1908年頃より、国内外で指揮者としても活躍する。

1917年 第一次世界大戦勃発。体調不良により、作曲活動が少なくなる。

1918年 55歳で死去。

関わりのあった人

作曲家 モーリス・ラヴェル、エリック・サティ（フランス）
マヌエル・デ・ファリャ（スペイン）
イゴール・ストラヴィンスキー（ロシア）

詩人 ステファヌ・マラルメ、ピエール・ルイス、シャルル・ボードレール、
ポール・ヴェルレーヌ（全てフランス）

作家 エドガー・アラン・ポー（フランス）

劇作家/詩人 モーリス・メーテルリンク（ベルギー）

画家 サンドロ・ボッティチェリ（イタリア）エドガー・ドガ、ギュスターヴ・モロー、
オディロン・ルドン、ポール・ゴーギャン、モーリス・ドニ（フランス）
バーン＝ジョーンズ、ダンテ・ガブリエル・ロセッティ（イギリス）

彫刻家 カミーユ・クロードル（フランス）

ピアノ曲の代表作

2つのアラベスク・ベルガマスク組曲・ピアノのために・版画・喜びの島・映像第1集・第2集

子供の領分・前奏曲集 第1巻・前奏曲集 第2巻・12の練習曲